

女子「白石高校」29位、男子「鳥栖工業高校」17位、共に健闘！！

今年も全国から男女・高校駅伝47チームが京都西京極陸上競技場に集まりました。女子がスタートした10時20分の気温は5℃、快晴で絶好の駅伝日和。女子の佐賀県代表は4年連続10回目出場の白石高校。昨年の22位からの躍進をかけたのチャレンジ走となりました。一方、男子の県代表は13年連続47回目出場の鳥栖工業高校。前回、大健闘の10位から更なる高みを目指してのレースとなりました。

今年は発着地点の西京極陸上競技には、3年ぶりに地元佐賀県から多くの応援団が駆けつけ選手の力になりました。鳥栖工業は今年7月に前任の貞島瑞穂監督(87才)が逝去され、教え子である古川昌道監督(56才)や選手たちは全員、喪章をつけてレースに臨みました。大会の結果は次の通り。

女子(白石高校)は、躍進とはならなかったものの、1時間13分08秒(昨年は1時間12分02秒)29位と健闘しました。男子(鳥栖工業高校)も順位を上げることは出来ませんでした。2時間06分32秒(昨年は2時間05分07秒)17位と健闘し、遺憾無く実力を発揮しました。

女子の優勝は長野県(長野東高校)が初優勝(1時間07分37秒)。男子は岡山県(倉敷高校)が大会新記録(2時間01分10秒)でゴールするという大変レベルの高いレースとなりました。

今年は三年ぶりの有人開催という事もあり、会場全体は終日熱気に包まれていました。会場に来られなかった皆様の応援も選手に届いたと思います。

(広報部会：蒲原記)